

校長室だより

枚方市立招提北中学校
平成27年12月10日(木曜)
第22号 電話 050-7102-9265
FAX 072-867-1911

『人権学習』講演会を開く！

＝北村さんを招聘し、ホームレス問題を考える＝

先週1日(火曜)に、本校体育館で、ホームレス問題をメインテーマにした「人権学習」の講演会を開きました。講師には、ノンフィクション作家で、ホームレス問題の授業作り全国ネットの代表理事もなされている北村年子さんを、東京より招聘しました。

実は、この講演会に先立って、生徒たちは、事前学習として、前日(11/30)に、DVD『「ホームレス」と出会う子どもたち』を鑑賞しました。そして、人権・道德教育担当の兼子教諭から、ホームレスに関する人権問題の講話を聞いて、この日に臨みました。

「愛の反対は、無関心」

北村さんは、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサの言葉である、「愛の反対は、憎しみではなく、無関心です。」を引用し、「無知」は「偏見」を生み、「無関心」は「差別」につながると言われました。そして、それは「いじめ」と同じ構造だとも述べられました。

ホームレスの人たちは、怠けているのではなく、それぞれの事情があって、ホームレス状態になっている事や、それは、誰にでも起り得る事もお話されました。

また、本人に働く意欲があっても、年齢で採用されない→住所がない→定職に就けない→お金がない→家が借りられないという悪循環に陥っている事。そのために、このホームレス状態から、なかなか抜け出せない状況も教えて頂きました。

以前に、ホームレスを襲った中高生たちは、「無知による偏見」で、「ホームレスは、社会のクズだ」と決めつけ、「周囲の無関心」で、「ホームレスなら、襲っても大人に叱られない」と思っていた事を、直接取材された北村さんは仰られました。

そして、「ホーム」とは「安心して過ごせる場所」です。それを失うことが「ホームレス」ならば、教室の中にも「ホームレス」の友達がいるのではありませんかと、北村さんは生徒たちに問いかけました。

「いつ何をされるか分からない。安心して教室に居られない」友達は、住む家はあっても「心のホームレス」です。その友達の不安や孤独に「無関心」でいる事は、いじめを許しているという点で、直接手を出していじめている人と同じくらい罪深いとも・・・。

怖くて、いじめを止める事ができなくても、いじめられている友達に皆が関わっていけば、いじめにくい状況を作る事ができる。だから、是非！いじめられている友達に関心を持って欲しい。自分を大切に思う気持ちも持ってほしい。最後に、「愛の反対は、暴力でも憎悪でもなく、無関心です！」という言葉で、北村さんは講演会を締めくくりました。



英語科で、校内研究授業をしました！

今年も、学習進路部が中心となって、随時、授業力や指導技術や資質向上をめざして、校内研究授業を実施しています。これは、ついつい「構えて行う公開研究授業」とは違って、「いつもの授業」を気軽に教員同士が授業参観し、その授業について、研究協議を平素からして行こうというものです。

8日(火曜)に、「内田」が、2年2組で英語の校内研究授業を行いました。習熟度別少人数授業(基本コース)で、単元は「動名詞」の学習でした。生徒たちにとっては難しい文法を、ICT機器を駆使し、グループワークや英語ゲームなどを上手に取り入れて、分かりやすい楽しい授業をすべく奮闘していました。

このような教員同士の研修・研鑽を積み上げ、授業力の向上や指導技術の改善に、学校挙げて、より一層邁進して参ります。



またまた、「朝の挨拶運動」を行う！

早朝に、生活委員の爽やかな声が響く！

またまた、生徒会の生活委員会の皆は、2日(水曜)～4日(金曜)にかけて、校門で「朝の挨拶運動」を行いました。財田玲奈委員長(2年2組)を先頭に、各学年の生活委員会委員が、順番で朝早くから校門に立ちました。ぞくぞくと登校する生徒に、生活委員の皆が、明るく大きな声で「おはようございま～す！」と声を揃えて呼びかけていました。

でも、登校して来る生徒の皆の態度や反応が、少し気になりました。せっかく、生活委員会の友だちや先生方が、爽やかな朝の挨拶や声かけをしているのですから、明日の朝からは！気持ちよく大きな声で挨拶をしよう！しっかりとした声で、返事をしよう！

(なお、教員は、毎朝1年を通じて正門に複数名が立ち、朝の挨拶運動を、雨の日も風の日も雪の日も行っています。)



Good News 朗報 グッドニュース Good News 朗報 グッドニュース

■快挙！2年連続！環境表彰で、「教育委員会賞」を受賞！■

なんと！昨年度に引き続き、今年度も、本校が環境教育・環境保全の取り組みが評価され、「平成27年度枚方市学校園環境表彰」の「教育委員会賞」を受賞する事に！またまたなりました！本当に嬉しいかぎりです。取り組みの一端ですが、今年からは、校内の全教室のゴミ箱を「45ℓ」から「10ℓ」に変えて、ごみの減量化に取り組みました。これは、手塚養護教諭の指導の下、生徒会・保健美化委員会の生徒たちが、音頭をとって、地道に環境啓発活動を展開して来ました。今後もこれを励みに、環境教育・環境保全活動を、より一層推進して行きたいと思います。